

小原無絃 むじり 繚譯家。明治十二年四月十六日山口縣玖珂郡岩國町生れ、「昭和」二十八年十月二十日歿（一八七九—一九五三）。本名要逸。明治二十三年山口高等學校大學豫科卒業後、東京帝國大學に進む。翌年並之原タチと結婚。日本女子美術學校の英語、美術史を教授。また教へ子の原阿佐緒との間に一子が出来、自身の四男として入籍すると、この阿佐緒の庶子として轉籍。

譯書の『西吟新譯』（明治二十八年十月）日本郷書院）、『ユーゴーの詩』（明治二十八年十一月七日日本郷書院）、『シエレーの詩』（内題『シエレーの詩』明治二十九年一月）日高有倫堂）、『バーンスの詩』（明治二十九年一月）日高有倫堂）、『花の詩』（明治二十九年三月）日本郷書院）、E. SOUVETRE 著『聖安下宿の哲學者』（明治四十二年九月）日高有倫堂）、『ナポリオシ簿』（編著、明治四十四年九月）日高有倫堂）、ルネ・アルバート・バンクス著『基督詩集』（内題『シエレーの詩集』大正八年十月五日朝野書店）等。

『基督待道録』（明治四十五年八月八日内外出版協會）、『基督シエレー詩集』（内題『シエレーの詩集』大正八年十月五日朝野書店）等。

他の『自修國文學の方言研究』（堤達也共著、大正十年一月一日日進堂）の著がある。

